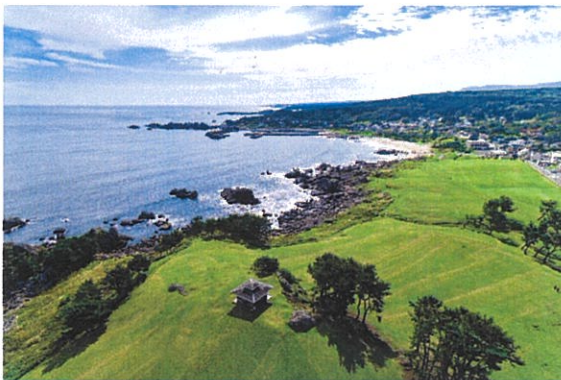


岩手県知事

達増 拓也 様

要 望 書

1. 三陸沿岸道路の機能強化について
2. 国土強靱化を実現するための防災・減災対策の充実について



八戸市:種差海岸



約 1000 kmの全線開通5周年(海にせり出す侍石)

久慈市:みちのく潮風トレイル



洋野町:種市海浜公園



階上町:階上岳大開平展望台



野田村:ほたてんぼうだいと十府ヶ浦海岸



普代村:普代浜園地キラウミ

八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会

1. 三陸沿岸道路の機能強化について

八戸・久慈自動車道は、東北縦貫自動車道八戸線の八戸ジャンクションから分岐して久慈市へ至る延長約50kmの高規格幹線道路であり、全長359kmに及ぶ三陸沿岸道路の一部に位置付けられております。

八戸・久慈自動車道は令和3年3月20日に開通を迎え、三陸沿岸道路につきましても、同年12月18日に全線開通し、三陸沿岸都市は、広域高規格道路ネットワークで結ばれました。

これも、国土交通省をはじめ、青森・岩手両県、その他関係機関、関係者の皆様の、多大なる御尽力の賜物と、心から感謝申し上げます。

さて、八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会は、三陸沿岸道路の機能強化及び利活用促進に向けた、各種活動に取り組んでいるところであります。

本路線は、災害時には緊急避難路や緊急輸送道路の機能を担うほか、平時においても、「三陸復興国立公園」への観光客の誘引による観光産業の活性化、救急患者搬送時間の短縮による救急救命率の向上、物資輸送の円滑化、三陸沿岸地域と北海道が八戸・苫小牧間のフェリー航路を經由してつながったことによる物流拡大と観光客の流入拡大等、多方面にわたる整備効果が発現しております。

三陸沿岸道路の整備効果が最大限に発揮され、三陸沿岸地域の更なる発展と活性化につなげるため、トイレや防災

拠点機能を有したサービスエリアの設置、速達性や定時性を確保するための追越車線をはじめとした将来的な4車線化、ハーフインターのフルインターチェンジ化など、機能強化の1日も早い整備を待ち望んでおります。

つきましては、本路線の利用拡大に向け、以下の要望事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

- (1) 開通後の社会情勢や利用状況の変化に対応した三陸沿岸道路全体の機能強化計画を早期に策定すること**
- (2) 洋野種市ICフルインターチェンジ化事業を早期に完成させること**

2. 国土強靱化を実現するための防災・減災対策の充実について

近年、気象災害が激甚化・頻発化し、大規模地震の発生も切迫しており、また、高度成長期以降に集中的に整備された多くのインフラの老朽化が見込まれることから、それらの維持管理・更新を確実に実施する必要があります。

国におかれましては、こうした状況を踏まえ、令和3年4月27日に「防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラム」を策定し、取り組みを強力的に推進することとしております。

八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会といたしましても、道路施設の老朽化対策、橋梁等の流失防止対策、緊急輸送道路における無電柱化対策など、防災・減災、国土強靱化のための一層の取り組みが必要不可欠となっております。

つきましては、以下の要望事項について、特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

- (1) 「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」の最終年度となる令和7年度においても必要な予算・財源を例年以上の規模で確保し、計画的に推進するとともに、昨今の地震・豪雨・豪雪などの災害の状況を踏まえ、国土強靱化実施中期計画を速やかに策定し、必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保し、継続的に取り組むこと

(2) 老朽化対策への技術的支援や、大規模自然災害に即応するための地方整備局等の体制強化や必要となる資機材の更なる確保に取り組むこと